

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

THIS PAGE BLANK (USPTO)

PCT/JP 01/00386
21.02.01

日 本 国 特 許 庁

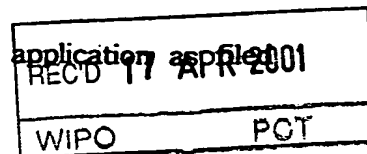
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

EKU

JP 01/386

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application applied with this Office.



出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 1月21日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-012461

出 願 人

Applicant (s):

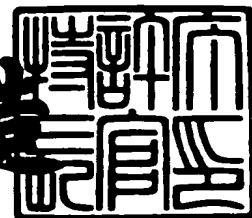
セイコーエプソン株式会社

PRIORITY
DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2001年 3月30日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3024025

【書類名】 特許願

【整理番号】 J0076633

【提出日】 平成12年 1月21日

【あて先】 特許庁長官 近藤 隆彦 殿

【国際特許分類】 B41J 2/175
B41J 2/01

【発明者】

【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

【氏名】 木村 仁俊

【特許出願人】

【識別番号】 000002369

【氏名又は名称】 セイコーエプソン株式会社

【識別番号】 100101878

【弁理士】

【氏名又は名称】 木下 茂

【手数料の表示】

【予納百帳番号】 063692

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0000257

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インクジェット式記録装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 キャリッジに搭載されて記録用紙の幅方向に往復移動される記録ヘッドと、前記記録ヘッドと共にキャリッジに搭載され、メインタンクからインク補給路を介してインクの補給を受けると共に、前記記録ヘッドにインクを供給するサブタンクとを備えたインクジェット式記録装置であって、

前記インク補給路には、記録装置の動作電源がオフ状態において閉弁されるインク補給バルブが配置されたことを特徴とするインクジェット式記録装置。

【請求項 2】 前記メインタンクは、その外郭が気密状態に形成され、内部にインクを封入した可撓性素材により形成されたインクパックが収納されると共に、メインタンクの外郭構成部材とインクパックとで形成される圧力室内に空気が封入されることにより気圧が調整されることを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 3】 前記メインタンクからサブタンクに至るインク補給路が、可撓性のインク補給チューブにより構成されている請求項 1 または請求項 2 に記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 4】 前記インク補給路は、前記サブタンク内にインクを貯留するインク補給路におけるメインタンク側の直近に配置されてなる請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 5】 前記インク補給バルブは、前記サブタンク内のインク貯留量を検出するインク量検出手段によって生成される制御信号により開閉弁されるように構成された請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 6】 前記インク量検出手段は、サブタンク内に収容されて、サブタンク内に貯留されたインクによって浮上するフロート部材と、サブタンク内のインク量に応じた前記フロート部材の浮上位置にしたがって電氣的出力を発生する出力発生手段により構成された請求項 5 に記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 7】 前記出力発生手段は、フロート部材に配置された永久磁石と

、フロート部材の浮上位置にしたがった前記永久磁石による磁力線量に応じて電気的出力を発生する磁電変換素子により構成されてなる請求項 6 に記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 8】 前記インク補給バルブは、ダイヤフラム弁により構成され、ダイヤフラム弁のほぼ中央部に取り付けられたスライド軸が、アクチュエータによって軸方向に駆動されることによって開閉弁動作がなされるように構成された請求項 1 乃至請求項 7 のいずれかに記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 9】 前記ダイヤフラム弁がケース内に配置され、前記ケース内に形成された開口部を開閉することで、開閉弁制御がなされるように構成した請求項 8 に記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 1 0】 前記ダイヤフラム弁のほぼ中央部が水平方向に可動するように構成した請求項 8 または請求項 9 に記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 1 1】 前記ダイヤフラム弁が配置されたケースの開口部に至るインク流路と、ケース内から前記インク補給チューブに接続されたインク流路とがほぼ直交するように構成されると共に、前記ケースに接続されたインク補給チューブの導出部が、ほぼ鉛直方向に向かうように配置されてなる請求項 8 乃至請求項 1 0 のいずれかに記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 1 2】 前記アクチュエータが、電磁プランジャーによって構成された請求項 8 乃至請求項 1 1 のいずれかに記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 1 3】 前記電磁プランジャーによる駆動力が、支軸を介して回動される駆動レバーの一端部に伝達され、駆動レバーの他端部において、前記ダイヤフラム弁を駆動するスライド軸に伝達されるように構成した請求項 1 2 に記載のインクジェット式記録装置。

【請求項 1 4】 前記電磁プランジャーへの通電時において、ダイヤフラム弁が開弁状態に制御され、前記電磁プランジャーへの非通電時において、ダイヤフラム弁が閉弁状態に制御されるように構成した請求項 1 2 または請求項 1 3 に記載のインクジェット式記録装置。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明はキャリッジ上に記録ヘッドと共に搭載され、記録ヘッドにインクを供給するサブタンクが具備され、前記サブタンクに対してインク補給チューブを介してメインタンクからインクを逐次補給するように構成したインクジェット式記録装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

インクジェット式記録装置は、印刷時の騒音が比較的小さく、しかも小さなドットを高い密度で形成できるため、昨今においてはカラー印刷を含めた多くの印刷に使用されている。このようなインクジェット式記録装置は、一般にキャリッジ上に搭載されて記録用紙の幅方向に移動するインクジェット式記録ヘッドと、記録用紙を記録ヘッドの移動方向に対して直行する方向に相対的に移動させる紙送り機構とを有し、この紙送り機構により記録用紙に対して記録が行われる。

【0003】

そしてキャリッジ上に例えばブラック、イエロー、シアン、マゼンタの各インクの吐出可能な記録ヘッドを搭載し、ブラックインクによるテキスト印刷ばかりでは無く、カラー印刷にも対応できるようにしている。

【0004】

一方、例えばオフィス向けまたは業務用に提供されるこの種の記録装置においては、比較的大量の印刷に対応させるために、大容量のインクカートリッジを配備する必要が生じ、このためにインクカートリッジとしてのメインタンクを装置本体側に配置された装着装置（カートリッジホルダ）に装填させる形式の記録装置が提供されている。

【0005】

そして、記録ヘッドが搭載されたキャリッジ上にはサブタンクが配置され、前記各メインタンクから各サブタンクに対してインク補給チューブを介してそれぞれインクを補給し、さらに各サブタンクからそれぞれ記録ヘッドに対してインク

を供給するように構成されている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、昨今においては大きな紙面に対して印刷を行うことが可能な、キャリッジの走査距離の長い大型の記録装置が要求されている。このような記録装置においては、スループットを向上させるために、記録ヘッドにおいては益々多ノズル化が図られている。さらに、スループットを向上させるために、印刷を実行しながらメインタンクからキャリッジに搭載された各サブタンクに対して逐次インクを補給することを可能とし、各サブタンクからそれぞれ記録ヘッドに対してインクを安定して供給するような記録装置が求められる。

【0007】

このような記録装置においては、メインタンクからサブタンクに対して、それぞれのインクに対応してインク補給チューブを接続する必要がある。キャリッジの走査距離が大きくなると、必然的にチューブの出し距離が増大する。前記したとおり、記録ヘッドにおいては多ノズル化が図られているために、インクの消費量が多く、メインタンクからサブタンクに接続された各インク補給チューブ内においてインクの動圧が高まり、サブタンクに対するインクの補給量が不足するという技術的課題を抱えている。

【0008】

このような課題を解決するための一つ的手段として、例えばメインタンク側に加圧空気を印加し、メインタンクからサブタンクに対して空気圧によって強制的なインク流を発生させて、サブタンクに対して必要十分なインクを補給する構成が好適に採用し得る。したがって、空気圧によりインクが補給される前記した構成による記録装置においては、キャリッジに搭載されたサブタンクに対してメインタンクの位置が重力方向に低い位置に配置される。

【0009】

また、前記した両者の位置関係を選択する理由として、仮にメインタンクに対してサブタンクの位置が重力方向において低い位置に配置された場合には、記録装置の休止期間中において、両者の水頭差によってインク補給チューブを介して

メインタンクからサブタンクに対してインクが序々に流れ、サブタンクに形成された後述する大気連通口を介してインクが漏出するという問題も発生し得るため、このような問題を回避する理由もある。

【0010】

一方、前記したようにサブタンクに対してメインタンクの位置が重力方向に低い位置に配置した構成によると、記録装置の休止期間中においては、メインタンクに対する加圧が停止されるため、サブタンクとメインタンクとの水頭差によって、サブタンクからメインタンクに対してインクが逆流するという問題が発生する。また、例えばインクカートリッジとしてのメインタンクをカートリッジホルダから取り外した場合においては、同様に両者の水頭差によって、サブタンクに貯留されているインクが逆流し、カートリッジホルダおよびその周辺を汚染させるという問題も発生し得る。

本発明は、前記したような問題点に着目してなされたものであり、記録装置への動作電源の非投入時において、サブタンクとメインタンクとの水頭差によって発生するインクの移動および漏出を効果的に抑えることができるインクジェット式記録装置を提供することを目的とするものである。

【課題を解決するための手段】

前記した目的を達成するためになされた本発明にかかるインクジェット式記録装置の基本構成は、キャリッジに搭載されて記録用紙の幅方向に往復移動される記録ヘッドと、前記記録ヘッドと共にキャリッジに搭載され、メインタンクからインク補給路を介してインクの補給を受けると共に、前記記録ヘッドにインクを供給するサブタンクとを備えたインクジェット式記録装置であって、前記インク補給路には、記録装置の動作電源がオフ状態において閉弁されるインク補給バルブが配置される。

【0013】

この場合、好ましくは前記メインタンクは、その外郭が気密状態に形成され、内部にインクを封入した可撓性素材により形成されたインクパックが収納される

と共に、メインタンクの外郭構成部材とインクパックとで形成される圧力室内に空気加圧ポンプにより生成される加圧空気が印加されるように構成される。さらに、好ましくは前記メインタンクからサブタンクに至るインク補給路が、可撓性のインク補給チューブにより構成される。

【0014】

また、前記インク補給バルブは、メインタンクからサブタンクに至るインク補給路におけるメインタンク側の直近に配置された構成とするのが望ましい。そして、好ましくは前記インク補給バルブは、前記サブタンク内のインク貯留量を検出するインク量検出手段によって生成される制御信号により開閉弁されるように構成される。

【0015】

この場合、好ましい実施の形態においては前記インク量検出手段は、サブタンク内に收容されて、サブタンク内に貯留されるインクによって浮上するフロート部材と、サブタンク内のインク量に応じた前記フロート部材の浮上位置にしたがって電氣的出力を発生する出力発生手段により構成される。さらに、前記出力発生手段はフロート部材に配置された永久磁石と、フロート部材の浮上位置にしたがった前記永久磁石による磁力線量に応じて電氣的出力を発生する磁電変換素子により構成される。

【0016】

一方、前記インク補給バルブは、ダイヤフラム弁により構成され、ダイヤフラム弁のほぼ中央部に取り付けられたスライド軸が、アクチュエータによって軸方向に駆動されることによって開閉弁動作がなされるように構成される。そして、好ましくは前記ダイヤフラム弁がケース内に配置され、前記ケースに形成された開口部を開閉することで、開閉弁制御がなされるように構成される。この場合、好ましくは前記ダイヤフラム弁のほぼ中央部が水平方向に可動するように構成される。

【0017】

加えて、前記ダイヤフラム弁がケースの開口部を開閉するように配置することにより形成された前記ケース内に至るインク流路と、ケース内から前記インク補

給チューブに至るインク流路とがほぼ直交するように構成されると共に、前記ケースに接続されたインク補給チューブの導出部が、ほぼ鉛直方向に向かうように配置された構成とすることが望ましい。

【 0 0 1 8 】

そして、前記アクチュエータは好ましくは電磁プランジャーによって構成され、前記電磁プランジャーによる駆動力が、支軸を介して回動される駆動レバーの一端部に伝達され、駆動レバーの他端部において、前記ダイヤフラム弁を駆動するスライド軸に伝達されるように構成される。さらに好ましくは、前記電磁プランジャーへの通電時において、ダイヤフラム弁が開弁状態に制御され、前記電磁プランジャーへの非通電時において、ダイヤフラム弁が閉弁状態に制御されるように構成される。

【 0 0 1 9 】

給チューブに至るインク補給路に配置されたインク補給バルブは、記録装置の動作電源がオフ状態において閉弁状態になされる。したがって、記録装置の休止中において、サブタンクとメインタンクとの水頭差によって発生するインクの移動および不用意なインクの漏出を効果的に抑えることができる。

そして、記録装置の動作中においては、各サブタンク内に貯留された個々のインク量がインク量検出手段によって検出される。これによって生成される制御信号により前記インク補給バルブが開閉弁なされるので、各メインタンクより各サブタンクに対して適正な量のインクを断続的に補給することができ、サブタンク内のインクの貯留量を適切に管理することができる。

【 0 0 2 1 】

また、インク補給バルブとしてダイヤフラム弁が採用され、またダイヤフラム弁は電磁プランジャーによる駆動力によって開閉されるように構成されると共に、電磁プランジャーへの非通電時において、ダイヤフラム弁が閉弁状態に制御されるように構成したので、記録装置への動作電源が遮断された場合、あるいは予期せぬ停電時において、自動的にメインタンクからサブタンクに至るインク補給

路が閉鎖状態になされる。

【0022】

【発明の実施の形態】

以下、本発明にかかるインクジェット式記録装置について、図に示す実施の形態に基づいて説明する。図1は、本発明が適用され得るインクジェット式記録装置の一例を上面図によって示したものである。図1において符号1はキャリッジであり、このキャリッジ1はキャリッジモータ2によって駆動されるタイミングベルト3を介し、走査ガイド部材4に案内されて紙送り部材5の長手方向、すなわち記録用紙の幅方向である主走査方向に往復移動されるように構成されている。そして、図1には示されていないが、キャリッジ1の紙送り部材5に対向する面には、後述するインクジェット式記録ヘッド6が搭載されている。

【0023】

また、キャリッジ1には前記記録ヘッドにインクを供給するためのサブタンク7a～7dが搭載されている。図2は、このサブタンク7a～7dの実施の形態を示す。図2においては、その内部において各インクを一時的に貯留するために、それぞれのインクに対応して4個具備されている。

【0024】

そして、このサブタンク7a～7dに対して装置の端部に配置されたカートリッジホルダ8に装填されたインクカートリッジとしてのメインタンク9a～9dから、インク供給路としての各チューブ10、10、……をそれぞれ介して、ブラック、イエロー、マゼンタおよびシアンの各インクが供給されるように構成されている。

【0025】

一方、前記キャリッジ1の移動経路上における非印字領域（ホームポジション）には、記録ヘッドのノズルプレートに封止することができるキャッピング手段11が配置されている。このキャッピング手段11の上面には、前記記録ヘッドのノズルプレートを封止し得るゴム等の可撓性素材により形成されたキャップ部材11aが具備されている。そして、キャリッジ1がホームポジションに移動したときに、これに追従して前記キャップ部材11aによって、記録ヘッドのノズルプ

このキャップ部材 11a は、記録装置の休止期間中において記録ヘッドのノズルプレート 11b を封止し、ノズル開口の乾燥を防止する蓋体として機能する。また、このキャッピング手段 11 には、図には示されていないが、吸引ポンプ（チューブポンプ）におけるチューブの一端が接続され、吸引ポンプによる負圧を記録ヘッドに作用させて、記録ヘッドからインクを吸引排出させるクリーニング動作が実行されるように構成されている。さらに、キャッピング手段 11 に隣接した印字領域側には、ゴムなどの弾性素材により形成されたワイピング部材 12 が配置されていて、必要に応じて記録ヘッドのノズルプレート 11b を払拭して清掃することができるように構成されている。

図 1 および図 2 に示した図 1 のインク供給システム 10 において、図 1 に示したものであり、このインク供給システムについて、同一符号で示した図 1 と共に説明する。図 1 および図 2 において、符号 21 は加圧ポンプを示しており、この加圧ポンプ 21 により生成された加圧空気は圧力調整弁 22 に供給され、圧力調整弁 22 により圧力調整された加圧空気は、圧力検出器 23 を介して前記インク供給システム 10 のインク供給管 9 (図 2 において 9a 代表) に供給され、以下において代表して単に符号 9 として説明する場合もある。) にそれぞれ供給されるように構成されている。

このメインタンク 9 は、その概略構成が図 2 に示されたように、その外郭が気密状態に形成されており、その内部にはインクを封入した可撓性素材により形成されたインクパック 24 が収納されている。そして、メインタンク 9 とインクパック 24 とで形成される空間が圧力室 25 を構成しており、この圧力室 25 内に、圧力検出器 23 を介した加圧空気が供給されるように構成されている。この構成により、各メインタンク 9 a ~ 9 d に収納された各インクパック 24 は、それぞれ加圧空気による加圧を受け、各メインタンク 9 a ~ 9 d から各サブタンク 7 a ~ 7 d に対してインク流が発生されるように作用する。

【0029】

したがって、前記各メインタンク 9 a～9 d において加圧されたインクは、インク補給バルブ 26, 26……および各インク補給チューブ 10, 10, ……をそれぞれ介して、キャリッジ 1 に搭載された各サブタンク 7 a～7 d (図 2 においては代表して符号 7 として示しており、以下において代表して単に符号 7 として説明する場合もある。) に供給される。

【0030】

図 2 に示すサブタンク 7 の構成についての詳細な説明は後述するが、その基本構成は、内部にフロート部材 31 が配置されており、そのフロート部材 31 の一部には永久磁石 32 が取り付けられている。そして、ホール素子に代表される磁電変換素子 33 a, 33 b が基板 34 に装着されて、サブタンク 7 の側壁に添接されている。

【0031】

この構成により、サブタンク 7 内のインク量が減少した前記フロート部材 31 の浮上位置にしたがって、電氣的出力を発生する出力発生手段を構成している。すなわち、この出力発生手段は、フロート部材 31 に配置された永久磁石 32 と、フロート部材の浮上位置にしたがった前記永久磁石 32 による磁力線量に応じて、前記ホール素子 33 a, 33 b により電氣的出力が発生される構成とされている。

【0032】

この構成により、例えばサブタンク 7 内のインク量が少なくなった場合には、サブタンク内に収納されたフロート部材 31 の位置が重力方向に移動し、これに伴い前記永久磁石 32 の位置も重力方向に移動する。したがって、永久磁石の移動によるホール素子 33 a, 33 b の電氣的出力は、サブタンク 7 内のインク量として感知することができ、ホール素子 33 a, 33 b により得られた電氣的出力によって、前記インク補給バルブ 26 が開弁される。

【0033】

これにより、メインタンク 9 内で加圧されているインクは、インク量が低下したそれぞれのサブタンク 7 内に送出される。そして、当該サブタンク 7 内におけ

るインク量が所定の容量に達した場合には、前記したホール素子 3 3 a, 3 3 b の電氣的出力に基づいて前記バルブ 2 6 が閉弁される。このような繰り返しにより、メインタンクからサブタンクに対して断続的にインクが補給されるように作用し、各サブタンクには、常にほぼ一定の範囲のインクが貯留されるようになされる。

【 0 0 3 4 】

このように、メインタンク内において空気圧によって加圧された各インクが、サブタンク内に配置されたそれぞれのフロート部材の位置に基づく電氣的な出力に基づいて、各サブタンクに対して補給されるように構成されているので、インクの補給レスポンスを向上させることができ、サブタンク内のインクの貯留量が適切に管理される。

【 0 0 3 5 】

ここで、各サブタンク 7 はバルブ 2 6 およびインク供給管 2 7 を介して記録ヘッド 6 に対してインクが供給されるように構成されており、記録ヘッド 6 に供給される印刷データに基づいて、記録ヘッド 6 のノズルプレートに形成されたノズル開口 6 a より、インク滴が吐出されるように作用する。なお、図 2 において符号 1 1 は、前記したキャッピング手段を示しており、このキャッピング手段 1 1 は記録ヘッド 6 のノズル開口 6 a に対してインクを供給する。

【 0 0 3 6 】

図 3 乃至図 5 は、前記したサブタンクの実施の形態を示したものであり、図 3 はサブタンクの一部の構成を割愛し、これを一面方向から見た斜視図で示し、図 4 は同方向から見た透視図で示している。さらに図 5 はサブタンクを裏面方向から見た背面図で示している。なお、図 3 乃至図 5 において、既に説明した各部に相当する部分は、同一符号で示されている。

【 0 0 3 7 】

サブタンク 7 は、ほぼ直方体状に形成され、且つ全体が偏平状になされている。このサブタンク 7 の外郭は、一側壁 4 1 a とこれに連なる周側壁 4 1 b とが一体に形成された箱状部材 4 1 により構成されており、この箱状部材 4 1 の開口周

縁には、樹脂素材によるフィルム状部材 4 2（図 4 参照）が例えば熱溶着手段により密着状態で取り付けられ、箱状部材 4 1 とフィルム状部材 4 2 とにより囲まれた内部に、インク貯留空間 4 3 が形成されている。

【 0 0 3 8 】

そして、箱状部材 4 1 を構成する前記一側壁 4 1 a からインク貯留空間 4 3 に向かって突出する支持軸 4 4 が箱状部材 4 1 と一体に形成されており、フロート部材 3 1 は、この支持軸 4 4 を回動中心として、インク貯留空間 4 3 内において重力方向に可動できるように配置されている。なお、この実施の形態においては、前記支持軸 4 4 はインク貯留空間 4 3 における水平方向の端部近傍に配置されており、前記フロート部材 3 1 は、前記支持軸 4 4 を回動中心として可動される支持腕部材 4 5 の可動自由端側に一体に形成されている。

【 0 0 3 9 】

そして、図 4 に示すように前記支持腕部材 4 5 の自由端側に、前記した永久磁石 3 2 が取り付けられており、この永久磁石 3 2 は、支持腕部材 4 5 がほぼ水平状態となされた時に、インク貯留空間 4 3 における水平方向の他端部近傍に位置するよう、すなわちサブタンク 7 の側壁に添接された基板 3 4 に装着されたホール素子 3 3 a, 3 3 b に最も接近されるように構成されている。また、前記ホール素子 3 3 a, 3 3 b はサブタンク 7 の側壁に形成された位置決め凹部 4 1 c に挿入されており、この位置決め凹部 4 1 c を形成することにより、サブタンク 7 の側壁部はより薄肉状態とされ、前記フロート部材 3 1 に取り付けられた永久磁石 3 2 の移動軌跡と、各ホール素子 3 3 a, 3 3 b との距離が、より接近できるように構成されている。

【 0 0 4 0 】

一方、前記サブタンク 7 には、その重力方向の低部、すなわちこの実施の形態においては周側壁 4 1 b の底部にインク補給口 4 6 が形成されており、このインク補給口 4 6 に接続された前記チューブ 1 0 を介してメインタンク 9 よりインク貯留空間 4 3 内に、インクが補給されるように構成されている。

【 0 0 4 1 】

サブタンク 7 におけるインク補給口 4 6 が、前記したとおり重力方向の低部に

形成されることにより、メインタンクからのインクは、インク貯留空間43の底部から補給され、したがって、インクの補給によってインク貯留空間43内におけるインクの泡立ちが発生しないように配慮されている。

【0042】

さらに、前記サブタンク7内には、フロート部材31および支持腕部材45の移動領域を避けた部分に、キャリッジの移動に伴いサブタンク内のインクの波打ちの発生度を低減させる複数条のリブ部材47が配置されている。この実施の形態においては、リブ部材47はサブタンク7を構成する箱状部材41の一側壁41aからインク貯留空間43に向かってそれぞれ突出するように、一側壁41aをベースとして一体に形成されているが、これは別体に形成されていてもよい。このリブ部材47の存在により、前記したとおりサブタンク内のインクの波打ちの発生度を低減させることができ、これにより、ホール素子によるサブタン

【0043】

また、サブタンク内7には、インク補給口46に近接してインク導出口48が形成されている。このインク導出口48を覆うように、五角形（ホームベース状）を形成する異物トラップ用のフィルタ部材49が配置されており、したがってインク導出口48に導かれるようになされる。しかも、インク導出口48はインク補給口46に近接して形成されているので、サブタンク7内に導入される比較的新しいインクが、直ちにこの導出口48より導出されるように作用する。

【0044】

前記インク導出口48より導出されるインクは、図5に示されたように側壁41aの裏面に形成された溝部50に導出され、この溝部を覆うように熱溶着されたフィルム状部材51により形成されたインク導出路を介してサブタンク7の下部に配置された前記バルブ35に至るように構成されている。そして、バルブ35を介して、同様に側壁41aの裏面に形成された溝部52に導出され、この溝部を覆うように熱溶着された前記フィルム状部材51により形成されたインク導出路を介して記録ヘッド6に接続されるチューブ36の接続口53に導かれる

ように構成されている。

【0045】

一方、サブタンク7の上半部には、図3および図4に示されたようにインク貯留空間43に導通する導通溝61が傾斜状態に形成されており、この導通溝61の上端部、すなわちサブタンク7の重力方向の高部には、サブタンク7の側壁41aの裏面に貫通する大気連通口62が形成されている。この大気連通口62は、図5に示すようにサブタンク7の裏面に配置され、大気を通過させると共にインクの通過を阻止するほぼ矩形状に形成された撥水膜63によって閉塞されている。

【0046】

この撥水膜63は、サブタンク7の側壁41aにおける裏面に形成された凹所に収納された形で配置されており、側壁41aの上部裏面を覆うように熱溶着されたフィルム部材64によって保持されている。そして、前記撥水膜63を介して側壁41aの裏面には蛇行溝65が形成されており、この蛇行溝65の端部は、サブタンク7の側壁41aに形成された有底孔66に連通されている。これら蛇行溝65および有底孔66は、前記したフィルム部材64によって気密状態に覆われており、したがって、蛇行溝65とフィルム部材64とによって、空気流通抵抗路（符号は蛇行溝と同じ65で示す）が形成されている。

そして、前記有底孔66を覆うフィルム状部材64を、鋭利な工具等で破壊することで、前記大気開放口62は蛇行状に形成された前記空気流通抵抗路65を介して大気に連通されるようになされる。このように、サブタンク7に形成された大気連通口62が撥水膜63により覆われた構成とされているので、誤って記録装置全体を例えば上下反転させた場合などにおいて、前記撥水膜63の存在によりサブタンク7内のインクを漏出させるという問題を回避することができる。

【0048】

また、空気流通抵抗路65の端部に形成された有底孔66を、予めフィルム部材64によって気密状態に覆った構成とすることで、サブタンク単体の完成時において、サブタンクの液漏れ（インク漏れ）をチェックすることができ、このチ

エックが完了した時点で、有底孔 66 を覆うフィルム状部材 64 を破壊することで、本来の機能をもたせるように構成することができる。なお、前記したサブタンク 7 には貫通孔 67 が形成されており、この貫通孔 67 を貫通して各サブタンク 7 を支持する 1 本の支持軸（図示せず）によって、各サブタンク 7 を並列状態に支持し、サブタンクユニットが構成できるようになされている。

【0049】

次に図 6 および図 7 は、前記したインクカートリッジとしてのメインタンク 9 が、カートリッジホルダ 8 に対して装填されている状態において、メインタンク 9 とカートリッジホルダ 8 のそれぞれの一部を拡大して示した断面図である。なお、図 6 はカートリッジホルダ 8 に装着されたインク補給バルブ 26 が閉弁されている状態を示し、また図 7 はインク補給バルブ 26 が開弁されている状態を示しており、既に説明した各部に相当する部分は同一符号で示している。

メインタンク 9 内に収納されたインクパック 24 には、インク導出栓 71 が一体に形成されており、このインク導出栓 71 はメインタンク 9 の一端部より外部に突出するように取り付けられている。この導出栓 71 には、その先端部に円環状に形成されたパッキング部材 71a が配置されており、導出栓 71 内を軸方向に摺動できるように配設された弁部材 71b がばね部材 71c によってパッキング部材 71a 側に付勢されている。

【0051】

この構成によって、メインタンク 9 がカートリッジホルダ 8 側に装填されない場合においては、弁部材 71b がパッキング部材 71a に当接して、インクパック 24 からのインクが漏出するのを阻止できるように構成されている。なお、図に示す状態は、弁部材 71b が後述する中空針によって押し込まれ、インクパック 24 よりインクが導出できる態勢になされている。

【0052】

一方、カートリッジホルダ 8 側には、その中央部にインク受給用接続栓 73 が突出して形成されている。この接続栓 73 には、先端部付近にインク導入孔 73a が形成された中空針 73b が配置されており、さらにこの中空針 73b の外周

をとり巻くようにして、軸方向に摺動可能に配置された摺動部材 73c が備えられている。そして、摺動部材 73c はばね部材 73d によって前方向に突出するように付勢されている。

【0053】

この構成によって、カートリッジホルダ 8 にメインタンク 9 が装填されない場合においては、摺動部材 73c が中空針 73b に形成されたインク導入孔 73a を閉塞して閉弁するようになされる。なお、図に示す状態は摺動部材 73c がカートリッジホルダ 8 側の接続栓 73 によって押し込まれ、中空針 73b におけるインク導入孔 73a が露出されて、メインタンク 9 側よりインクが中空針 73b 内に導入できる態勢になされている。

【0054】

また、メインタンク 9 の外郭部材には、圧力室 25 に連通する筒状体により構成された加圧空気導入口 75 が形成されている。カートリッジホルダ 8 側には加圧空気供給栓 77 が配備されており、この供給栓 77 内には環状のパッキング部材 77a が配置されている。したがって、メインタンク 9 をカートリッジホルダ 8 側に装填した図に示す状態において、カートリッジホルダ 8 側に配置された環状のパッキング部材 77a が、筒状体による加圧空気導入口 75 の外周面に密着して連結される。これにより、加圧空気がメインタンク 9 の圧力室 25 に導入できるように構成されている。

【0055】

前記カートリッジホルダ 8 側に配備された中空針 73b の基端部には、インク補給バルブ 26 が配備されており、このバルブ 26 を介してインク補給チューブ 10 が接続され、前記したようにキャリッジ 1 に搭載されたサブタンク 7 に対してインクが補給されるように構成されている。

【0056】

前記インク補給バルブ 26 には、ダイヤフラム弁 26a が具備されていて、その周縁部が第 1 ケース 26b および第 2 ケース 26c によって挟持されて、ダイヤフラム弁 26a は前記両ケース内に収納された構成になされている。そして、ダイヤフラム弁 26a のほぼ中央部に取り付けられたスライド軸 26d が、第 2

ケース 2 6 c に対して軸方向に摺動できるように取り付けられており、このスライド軸 2 6 d はアクチュエータとしての電磁プランジャー 7 9 による駆動力を受けて、図に示されたように水平方向に駆動されるように構成されている。したがって、スライド軸 2 6 d の軸方向の駆動力を受けて前記ダイヤフラム弁 2 6 a のほぼ中央部が水平方向に可動するように作用する。

【 0 0 5 7 】

そして、この実施の形態においては、前記電磁プランジャー 7 9 による駆動力が、支軸 8 0 を介して回動される駆動レバー 8 1 の一端部に伝達され、駆動レバーの他端部において、前記ダイヤフラム弁 2 6 a を駆動することができるスライド軸 2 6 d に伝達されるように構成されている。

【 0 0 5 8 】

さらに、スライド軸 2 6 d と第 2 ケース 2 6 c との間には、ばね部材 2 6 e が設けられたように、ばね部材 2 6 e の付勢力によってダイヤフラム弁 2 6 a の中央部が、中空針 7 3 b の基端部と接続された第 1 ケース 2 6 b に設けられた開口部 2 6 f を閉塞して閉弁状態とするように作用する。また電磁プランジャー 7 9 に通電された場合には、図 7 に示されたように電磁プランジャー 7 9 の駆動ロッド 7 9 a が引き出され、これによってスライド軸 2 6 d が駆動され、ダイヤフラム弁 2 6 a の中央部は第 1 ケース 2 6 b に設けられた開口部 2 6 f から離れ、開弁状態になされる。

【 0 0 5 9 】

それ故、電磁プランジャー 7 9 への通電によるダイヤフラム弁 2 6 a の開弁状態においては、図 7 に矢印で示したようにインクバック 2 4 より中空針 7 3 b によるインク流路を介してダイヤフラム弁が配置された第 1 ケース 2 6 b 内にインクが導入され、第 1 ケース 2 6 b に接続されたインク補給チューブ 1 0 を介して前記したサブタンク 7 に対してインクを補給することができる。そして、サブタンク 7 内のインク量が所定の容量に達すると、サブタンク 7 に具備されたフロート部材 3 1 の浮上位置にしたがった永久磁石 3 2 の磁力線量を検出するホール素子 3 3 a, 3 3 b の出力により、電磁プランジャー 7 9 への通電が遮断され、イ

ンクの補給が停止される。

【0060】

また、記録装置の動作電源がオフされた場合には、前記した電磁プランジャー79も非通電状態となり、これにより図6に示されたようにばね部材26eの付勢力によってダイヤフラム弁26aの中央部が、中空針73bの基端部と接続された第1ケース26bに設けられた開口部26fを閉塞して閉弁状態とされる。したがって、メインタンク9とサブタンク7との間に水頭差があっても、インク補給チューブ10を介していずれかの方向にインクが流れるのを阻止することができる。

【0061】

なお、図6および図7に示された構成から理解できるように、ダイヤフラム弁26aが配置された第1ケース26bの開口部26fに至るインク流路、すなわち中空針73b内において構成されるインク流路と、ケース26b内から前記インク補給チューブ10に接続されるインク流路とがほぼ直交するように構成されると共に、前記ケース26bに接続されたインク補給チューブ10の導出部が、ほぼ鉛直方向に向かうように配置されている。

【0062】

この構成により、インクカートリッジとしてのメインタンク9をカートリッジホルダ8側に装填した場合に浸入した気泡は、ダイヤフラム弁26aの付近に滞留することなく、インク補給チューブ10側に向かって浮上させることができる。そして、インク補給チューブ10側に向かって浮上した気泡は、前記サブタンク7内に導入されて浮上するため、当該気泡が記録ヘッド6側に入り込んで印字不良を招来させるという問題を回避することができる。

【0063】

また、図6および図7に示した実施の形態においては、メインタンクが装填されるカートリッジホルダ8にダイヤフラム弁26aによるインク補給バルブが配置されている。すなわち、インク補給バルブはメインタンクからサブタンクに至るインク補給路におけるメインタンク側の直近に配置された構成とされている。これは、例えばメインタンク9をカートリッジホルダ8から引き抜いた場合にお

いても、カートリッジホルダ8の直近にインク補給バルブが配置されているので、インク補給チューブ10に存在するインクが、カートリッジホルダ8側に漏出するのを効果的に阻止することができる。

【0064】

この場合、実施の形態においては、前記したようにカートリッジホルダ8には、中空針73bのインク導入孔73aを隠蔽して閉弁する摺動部材73cが一応備えられているものの、前記したようにインク補給バルブをメインタンク側の直近に配置することは、摺動部材73cによるインク導入孔73aの閉弁作用と、インク補給バルブ26による閉弁作用とが相乗的に作用し、水頭差による逆流を受けてカートリッジホルダ側の接続栓73よりインクが漏出するのを、より効果的に阻止することに寄与できる。

【0065】



以上の説明で明らかなように、本発明にかかるインクジェット式記録装置によると、インクカートリッジとしてのメインタンクからキャリッジに搭載されたサブタンクに至るインク補給路に、記録装置の動作電源がオフ状態において閉弁されるインク補給バルブを配置したので、記録装置の休止期間中、あるいは予期せぬ停電時においてインクが漏洩することによって機器内を汚染させることのない記録装置を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明を適用したインクジェット式記録装置の全体構成を示した平面図である。

【図2】

メインタンクから記録ヘッドに至るインク供給システムの構成を示した模式図である。

【図3】

サブタンクの一部の構成を割愛し、これを一面方向から見た状態の斜視図であ

る。

【図4】

同じくサブタンクを一面方向から見た状態の透視図である。

【図5】

同じくサブタンクを裏面方向から見た状態の背面図である。

【図6】

インク補給バルブが閉弁されている状態におけるメインタンクとカートリッジホルダとの一部を示した断面図である。

【図7】

インク補給バルブが開弁されている状態におけるメインタンクとカートリッジホルダとの一部を示した断面図である。

【符号の説明】



キャリッジ

記録ヘッド



7 (7 a, 7 b, 7 c, 7 d)

サブタンク

8

カートリッジホルダ

9 (9 a, 9 b, 9 c, 9 d)

メインタンク (インクカートリッジ)

10

インク補給チューブ (インク補給路)

21

加圧ポンプ

22

圧力調整弁

23

圧力検出器

24

インクバック

25

圧力室

26

インク補給バルブ

26 a

ダイヤフラム弁

26 b

第1ケース

26 c

第2ケース

26 d

スライド軸

26 e

ばね部材

26f	開口部
31	フロート部材
32	永久磁石
33 (33a, 33b)	ホール素子 (磁電変換素子)
71	インク導出栓
73	インク受給用接続栓
75	加圧空気導入口
77	加圧空気供給栓
77a	パッキング部材
79	電磁プランジャー (アクチュエータ)
79a	駆動ロッド
80	支軸

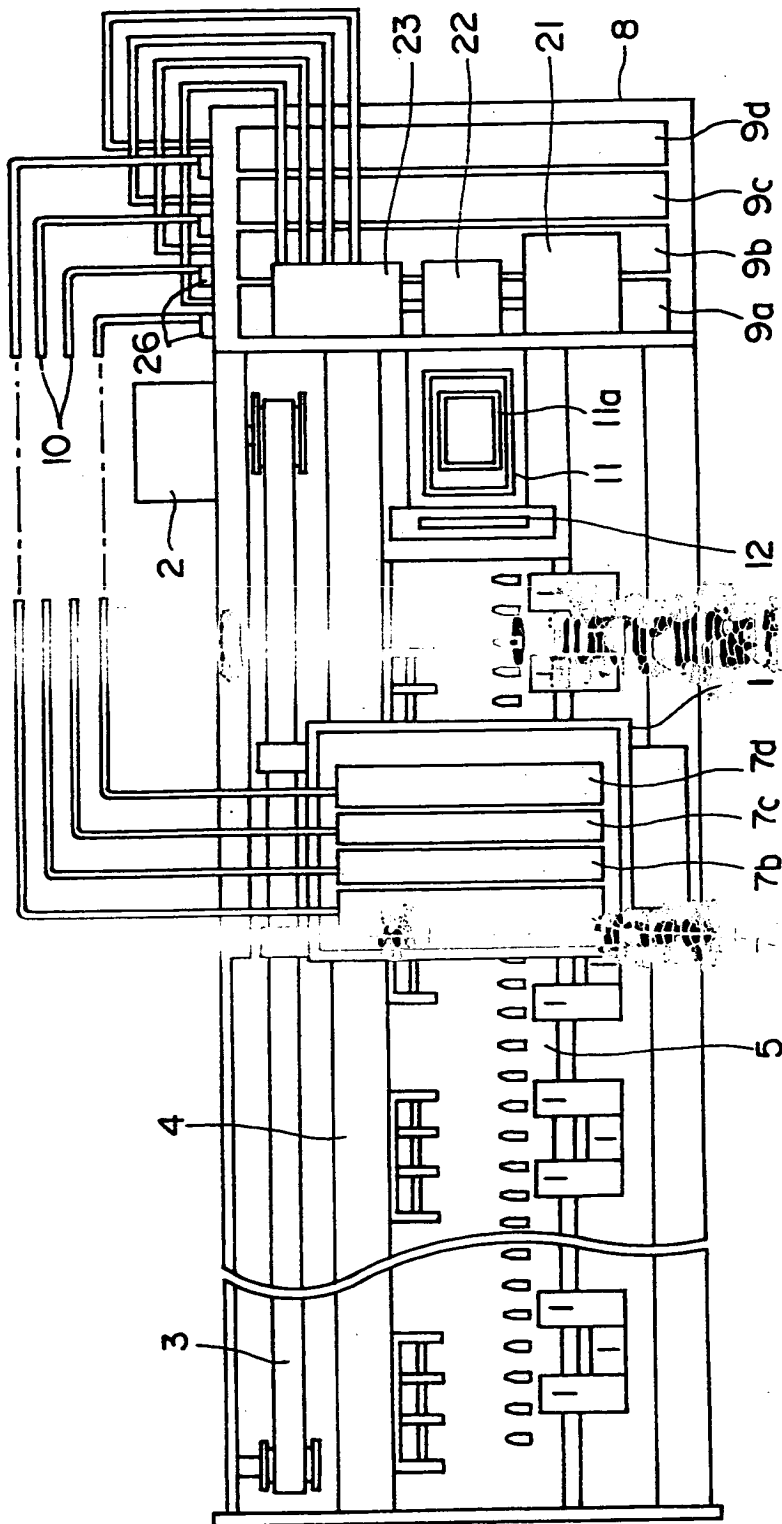


インク受給用接続栓

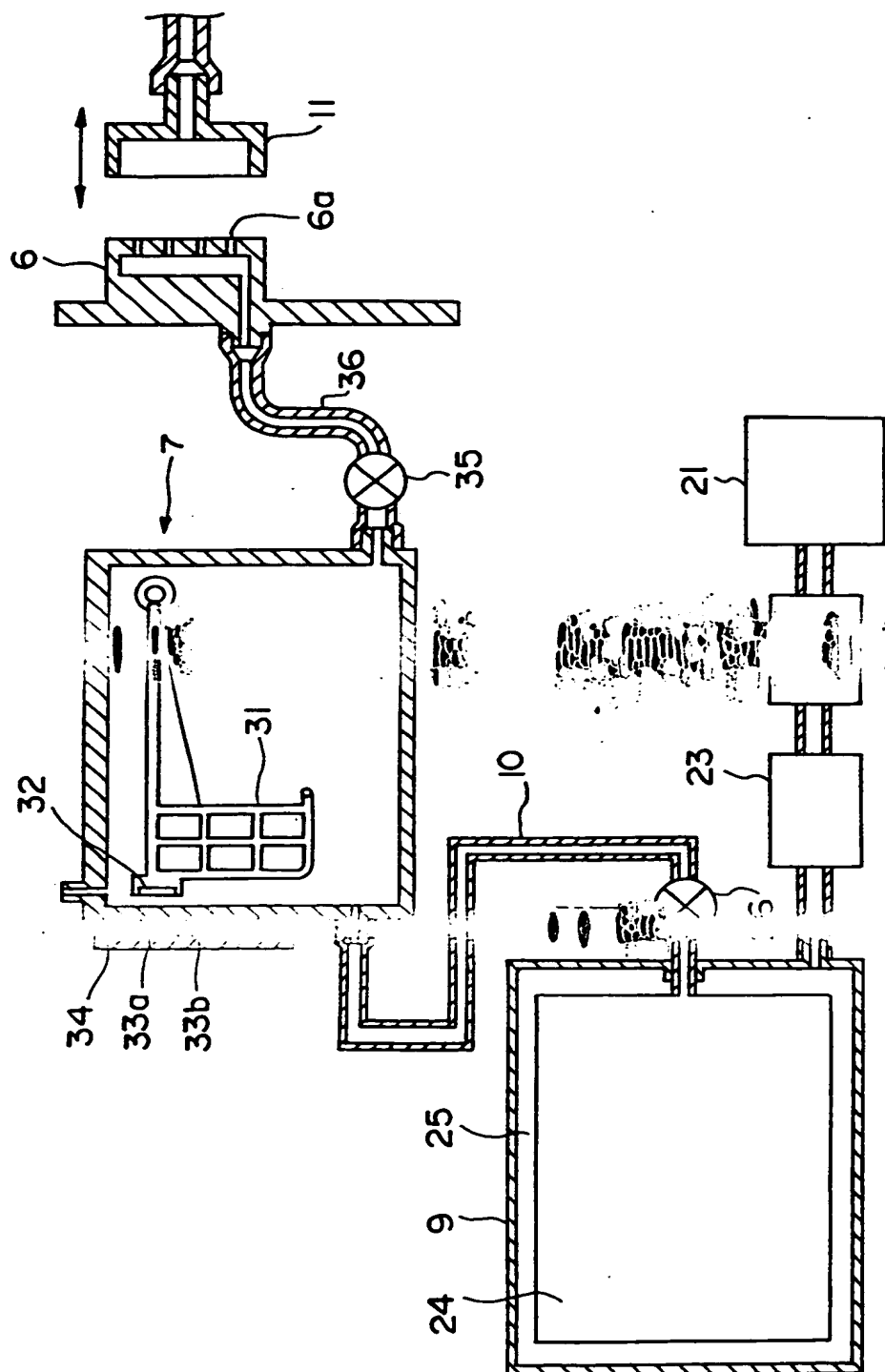


【書類名】 図面

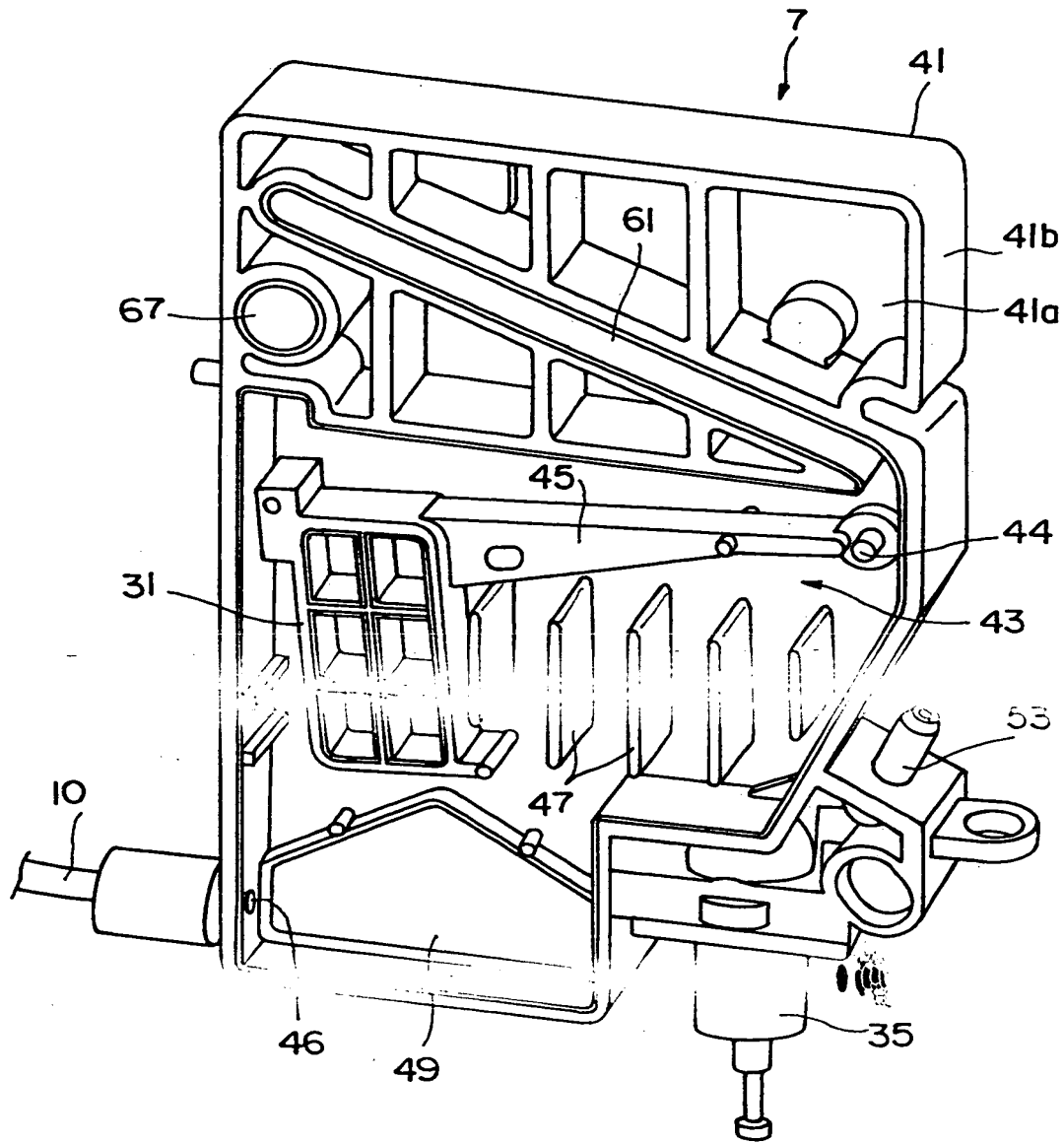
【図 1】



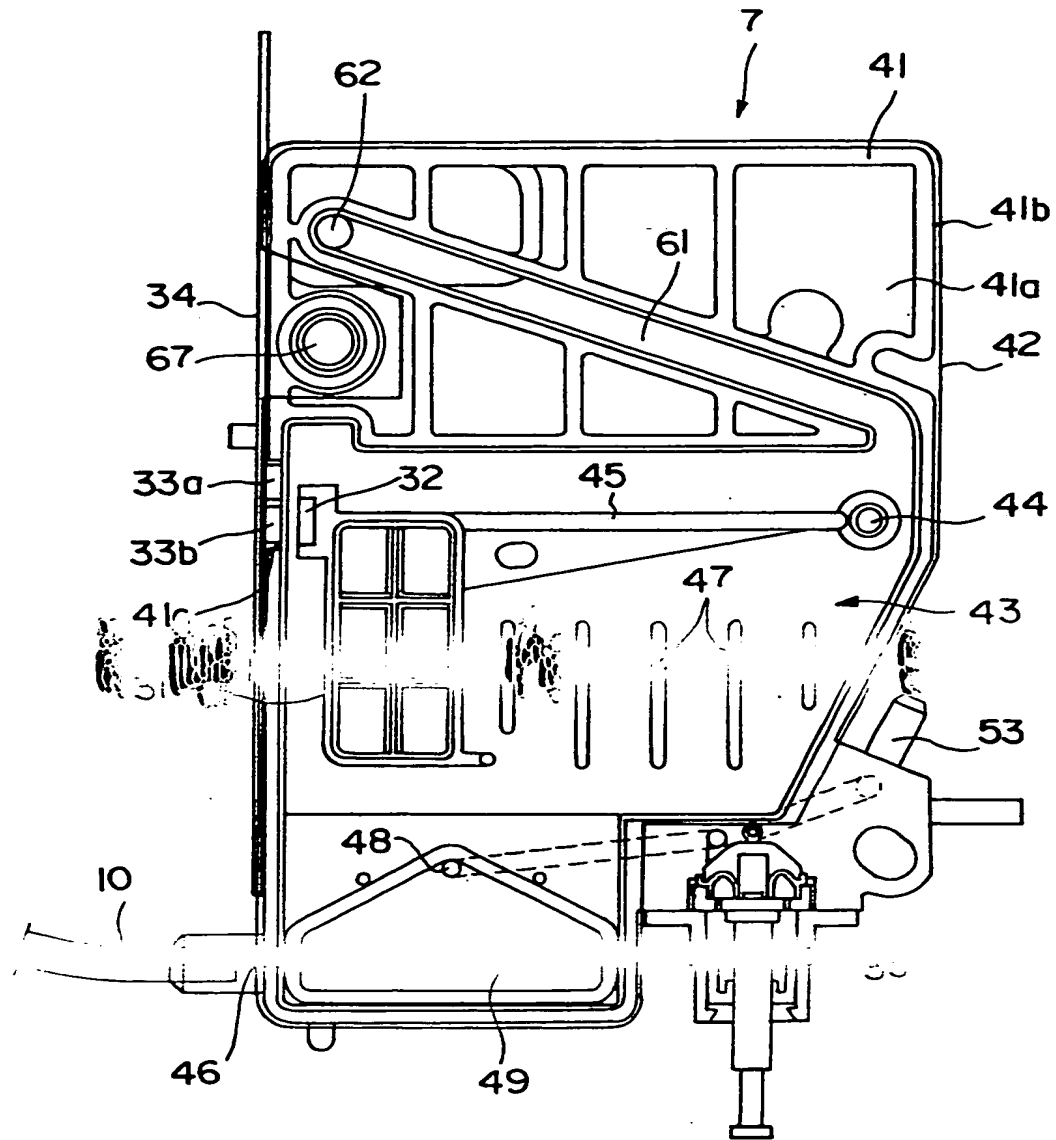
【図2】



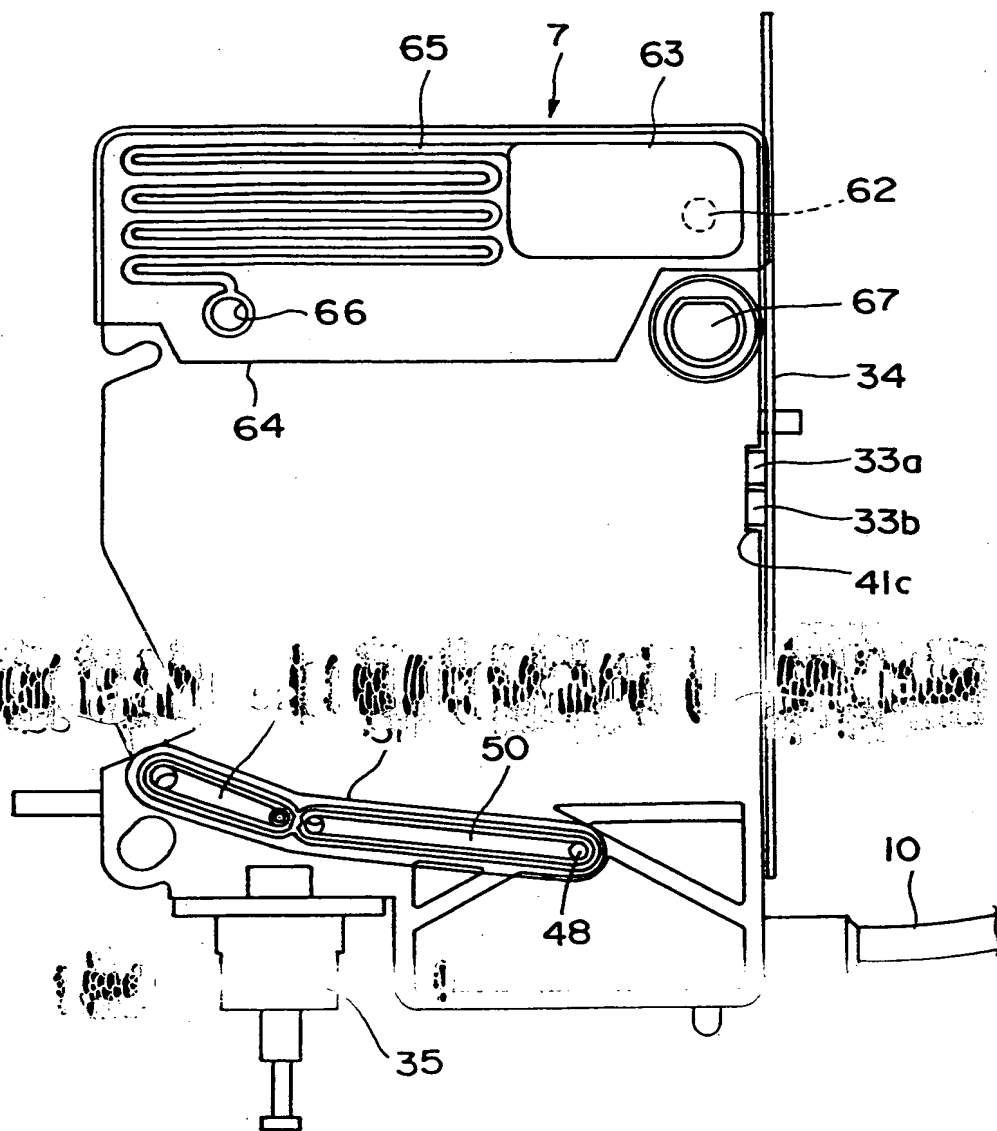
【図3】



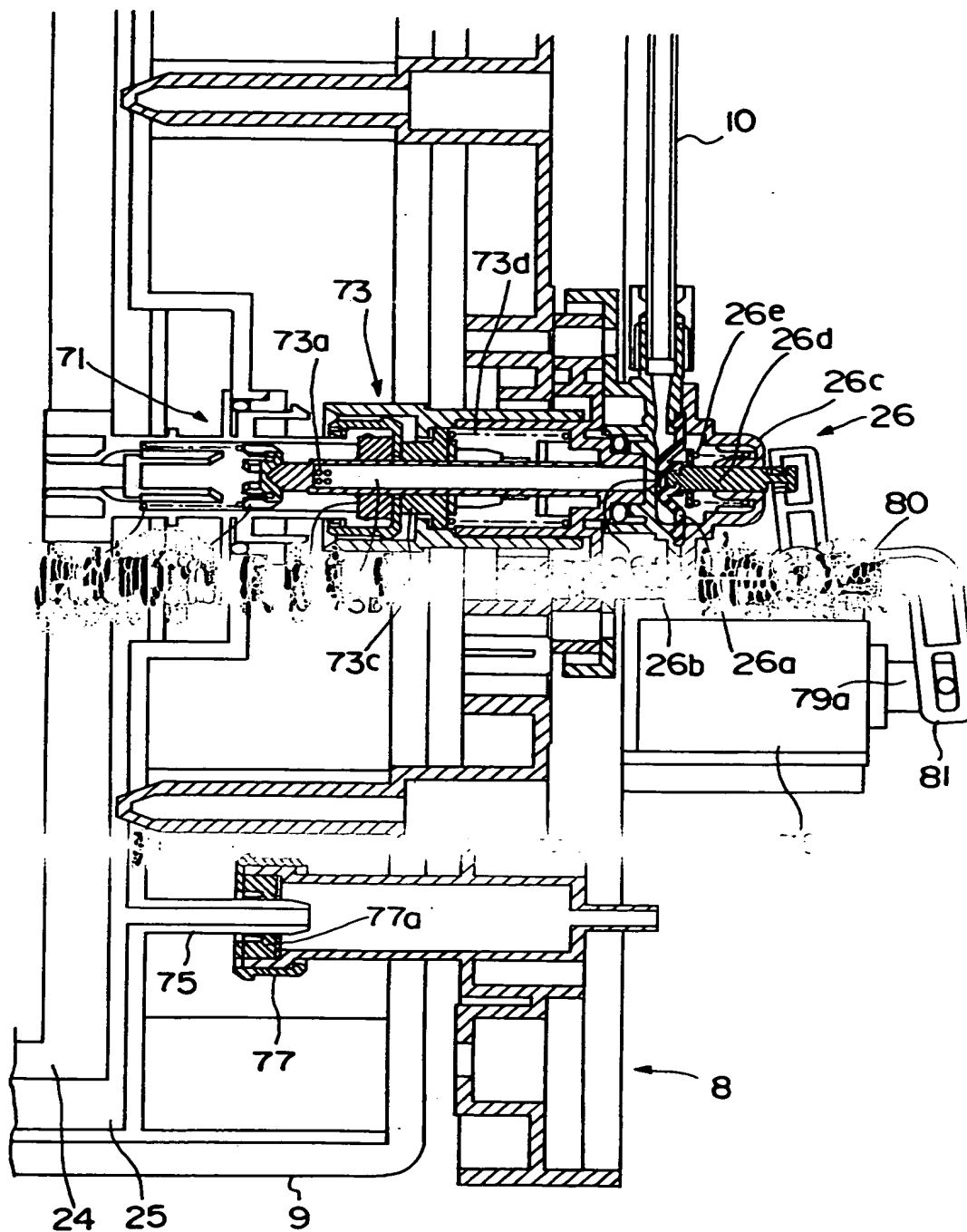
【図4】



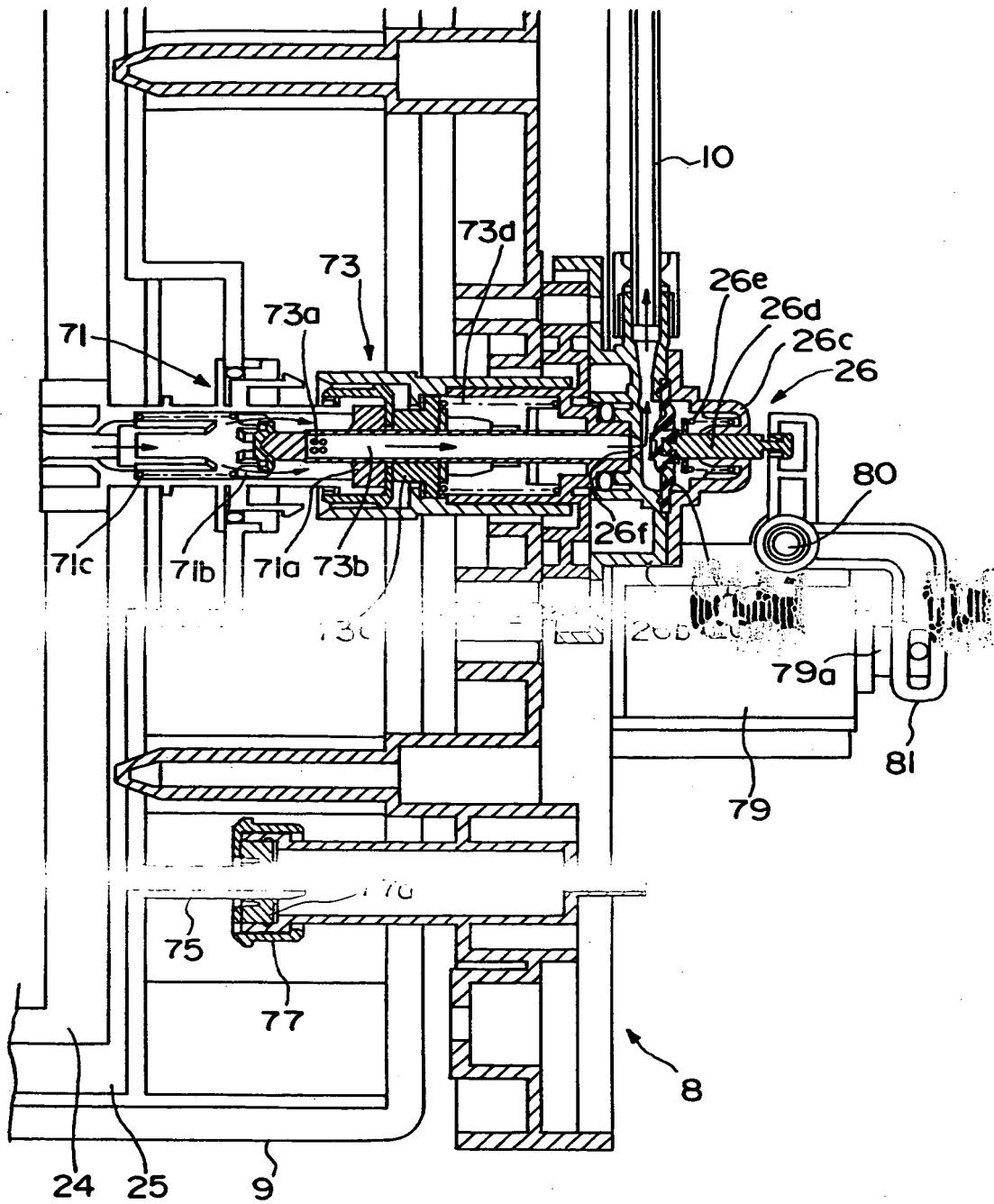
【図5】



【図6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 記録装置の休止期間中において、メインタンクとサブタンクとの水頭差により、インクがメインタンク側に逆流するのを阻止できるように構成すること。

【解決手段】 メインタンク 9 から空気圧によって送出されるインクは、カートリッジホルダ 8 に配置されたダイヤフラム弁 2 6 a によるインク補給バルブ 2 6 を介してサブタンクに至るインク補給チューブ 1 0 に送られる。前記ダイヤフラム弁 2 6 a は、電磁プランジヤー 7 9 によって開閉弁の制御がなされるように構成されており、記録装置の動作電源がオフ状態においては、ダイヤフラム弁 2 6 a は閉弁されるように構成されている。

【選択図】 図 6



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002369]

1. 変更年月日 1990年 8月20日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

氏 名 セイコーエプソン株式会社